



農環研若手研究者奨励賞

農業環境変動研究センターでは若手研究職員の活躍を奨励するため、優れた功績のあった40歳以下の研究職員を毎年表彰しています。10回目(旧農環研から通算)となる今年の受賞者と研究概要を紹介します。



受賞者：多胡(左)、大澤(右)

物質循環研究領域 主任研究員 多胡 香奈子
「農業環境の保全に向けた土壌微生物の生態と機能に関する研究」

肥料や農薬は作物の安定生産や労働力の削減のために必要ですが、環境負荷の原因ともなります。特に、地球温暖化の原因の1つである一酸化二窒素の発生や、農薬散布による生態系への影響には土壌中の微生物が関与しています。これらの微生物を検討し、土壌に棲む能力の違う微生物たちが一酸化二窒素の発生に関与していることが分かりました。また微生物は土壌に撒かれた農薬を分解

するのに加え、土壌と植物から害虫の一部に感染し、その害虫を農薬に強くすることを明らかにしました。



サンプリングの様子

環境情報基盤研究領域 主任研究員 大澤 剛士
「農業環境情報の利用促進をめざした統合データベースシステムの開発」

農環研では標本や観測データをはじめとする様々な基盤情報を整備、蓄積してきましたが、それらは利用されてはじめて価値があります。そこで、散在する基盤情報を利用しやすい形で提供することを目指し、インターネット技術を利用したデータ横断利用技術、利用しやすいライセンス、さらには外部との連携がしやすいプラットフォームを検討し、政府のデータカタログサイトと互換した農業環境データカタログサイト NIAES VIC を開発、公開しました。



農業環境データカタログサイト「NIAES VIC」
<https://niaesvic.dc.affrc.go.jp/>

農業環境インベントリー展示館を一般公開

展示・見学・体験

4月
20金

9:00 ~ 16:00

会場：農研機構
農業環境変動研究センター



(駐車スペース 50台)

ミニ農村ツアー

研究センター内に作られた“里山”を研究者が案内します。

展示館前集合(所要時間 30分)
1回目 11時~
2回目 13時~

ミニ農村で
里山の大切さを
知ろう!

※雨天中止



科学技術週間

未来につなげよう
豊かな農業と環境

- ・モノリスで土の不思議を感じてみよう!
- ・こんなに精巧!?—小さな虫を顕微鏡で観察—
- ・煙害—農業環境問題にとりくんだ歴史—
- ・害虫・益虫・ただの虫—農地にすむいろんな虫たち—
- ・温暖化を和らげる農業、温暖化に対応する農業
- ・農業と環境を考える—最新研究成果をポスターで紹介—
- ・身近な場所の土の種類を調べよう
- ・プラスチックを食べる微生物

※公開内容は変更する場合があります。
最新情報はWebサイトでご確認ください。



Editor's Note

基準値ということばは一般に使われますが、それ以下なら安全なの?という声も耳にします。本号ではそのもとになっているリスクや安全について、基本的な考え方を解説するとともに、関連する研究をとりあげました。(企画連携室)